

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	全員協議会	会議の場所	全員協議会室
		担当職員	山崎 浩久
日 時	平成24年4月27日（金） 開議 午後 3時00分 閉議 午後 4時05分		
出 席 委 員	議員 26名		
執行機関出席者	教育長、教育部長、教育次長、教育総務課長		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根係長、三宅主任、八木主任、山崎		
傍 聴	可・否	市民 0名	報道関係者 5名

会 議 の 概 要

○ 議長 開議

午後3時00分～

- ※ 冒頭にあたり、安詳小学校登校途中の交通事故でお亡くなりになられた、松村さん、小谷さんのご冥福をお祈りするため、黙とう。
- ※ 安詳小学校登校途中の交通事故で緊急の全員協議会を実施する。
- ※ 交通事故でお亡くなりになられた、松村さんの携帯番号が漏えいした件で、教育委員会より謝罪。

1 行政報告

○篠町で発生した集団登校中の事故について

教育長から事故の経過、対応等について説明

<井上議員>

知人から防災メールが届かなかったので混乱したと聞いた。テレビを見て詳細を知ったとのことであった。対応はどうか。

<教育部長>

学校安全メールについては発信できていない。今までから不審者情報等を主に発信をしており、交通事故については発信していない。情報収集に追われていた。

<井上議員>

事故の状況が把握できていなければ詳細な状況までは無理としても、今後はどこの学校で発生したという内容は発信してはどうか。

<教育長>

時間的余裕があれば検討をしていくが、事件当日は電話がひっきりなしに鳴り、情報が錯綜しており、一方ではマスコミ対応もあった。情報の確認収集に追われたのが現状で、とてもそこまで手が回る状況ではなかった。

<立花議員>

当日8時7分ぐらいに議会事務局から事故発生の連絡があり、急いで事故現場に駆けつけた。8時20分位に現場についたが、そのとき2名を残し、全員が搬送されていた。そこで感じたのは、少しでも早く手当がされたら助かったのではないかとということである。その時の救急搬送はどうであったのか。

<教育長>

事故発生から救急車は早く到着したが、搬送先の病院がなかなか決まらず、時間が費やされたという事実があったと報告を受けている。

<教育部長>

重傷者は南丹病院に運ばれた。素早く処置をいただいた後、特に重篤の方を阪大病院と豊岡病院へヘリで輸送された。

<堤議員>

市内、小中学校、また幼稚園等を含めて、路面表示の歩道しかない通学路のところが多い。総点検して完全な歩道をつくる、安全な通学路のコースの設定やガードレールで歩行者の安全を守る等の対策をとっていただきたい。栗山市長は市民の安全・安心のまちづくりを亀岡市の基本とされているが、どうか。

<教育長>

二度と起こってはならない大惨事が発生したので、二度と繰り返さないためにも安全対策を強化していく。市長も思いは同じである。市長から市の安全対策協議会で安全対策にかかる提起がされたところである。公安委員会・府への要望では通行規制、路面規制がある。市独自での対応となるものについては、通学路の安全点検、安全看板の設置、路面表示、通学路の一部変更、教育委員会では学校安全対策協議会の活動充実等を考えている。市で検討されているものについては、すみやかに実施をしていこうということである。市あげて、安全対策に取り組むことが確認をされている。教育委員会としてはありがたいことであり、ハードの対応を受けながら、子どもたちの安全教育の充実、命の尊重、社会規範を守るといった指導をしていきたい。

<教育部長>

本日と5月1日の予定でまちづくり推進部で、市道の通学路について朝の登校時間帯に、職員が出て現状を見ながら学校安全対策をつくるための点検等をしていると聞いている。

<齊藤議員>

加害者を生んだのは亀岡市の責任でもある。社会のルールを守る、規範意識を持つという指導を小さい時から徹底してやる。学校と家庭と緻密に連絡を取って、そういった子供に育てないようにすることが大切である。地域のコミュニティも非常に重要であるが、どうか。

<教育長>

おっしゃった内容は、非常に重要であるが、小中学校の義務教育で完結されるものではない。また、学校教育だけではできない。家庭教育、地域社会等の協力が必要だと考えている。地域社会全体がこどもを見守る中で、悪いことは悪いと指導ができるような教育環境が育っていけるように社会教育を通して呼びかけていきたい。

<馬場議員>

- ① 正常な労働を持って生活していくといったしっかりとした価値観を築かせる確固とした教育上の熱意がいる。その点での考えは。
- ② 事故が起こったのは京都府の府道である。京都府はこの問題をどうとらえているのか。また、通学路では、国道9号線の歩道のないところを歩かれている。その点ではどうか。また、私見であるが、京都縦貫道が有料になって渋滞が発生し、それが抜け道に入ってきている。縦貫道はそれにふさわしい道路にすべきであると考えているが、どうか。

<教育長>

- ① 命や人権を大切にする教育が大切である。また、社会のルールを守らなければ、こういう事態が発生をする。しっかりとルールを守れる、道徳の価値観に基づいた指導をこれからより充実していきたい。ただ、義務教育段階なので子供が社会に出ていく過程でどのように変化をしていくのか、社会、家庭の影響も大きい。
- ② 今回の事故を重大に受け止めて、府も安全点検を早急に実施されるなど対応が進んでおり、今後の対応に期待をしているところである。

<苗村議員>

- ① 道路の危険箇所をどういう形で把握していくのかについて、地元や保護者、自治会の人たちの目線が大切であると考えますがどうか。
- ② 小中学校だけでなく高校等と一緒に安全教育をしていこうということ

で、呼びかけ等行っていく必要があると考えるがどうか。

<教育長>

- ① まちづくり推進部の今後の取り組みは、今、詳細に把握できていないが、おそらくハード面から対応されるのではと考える。教育委員会はソフト面からの対応になる。見通しの状況、交通量の変化、また、地元自治会やPTA等から状況を把握することもある。それぞれの学校で考えられる方法で状況把握に努めていきたい。
- ② 小中高の連携は非常に大切であると考えるが、府立高校については府教委の指導が入る。府教委から強力な指導をしていただければありがたい。

<堤議員>

亀岡警察署の情報漏えいに続き、教育委員会でも発生してしまった。今回の場合、教頭の個人判断なのか、また、誰かに相談して行ったものか経緯を説明願いたい。

<教育長>

教頭本人から聞き取りをしたが、誰に相談をしたものでもない。自分の判断でやったということで正直に認めている。

<木曾議長>

今回の個人情報の漏えい問題について、犯罪被害者に対する救済の 条例も制定をされた。当然、理事者側もしっかり対応していかなければならない中で、この事件が起こった。ただ、条例設置をただけではいけない。もう一度、条例に鑑み、被害者に対する救済の対応をしっかりとさせていただくようお願いをする。また、通学路に関しては地元の意向を十分踏まえた中で、安全点検をするよう願う。合わせて、亀岡市、亀岡市議会、教育委員会を含めて非常事態の宣言を出さないといけないと考える。よろしくをお願いをしたい。

<理事者・報道関係者退席>

○閉会

全員協議会終了 午後4時05分